

競 技 規 則

《公式用品用具の使用に関して》

- ① 選手はSAJ公式用品委員会において設定された用品・用具を使用し、用品・用具に表示される商標及び社名はSAJ規程によるものの以外は認めません。ただし、本項の規制範囲は、開・閉会式等の公式の場所及び競技会場内（コートオープン含む）とします。「SAJ公式用品加入ブランド」は『SAJHP』⇒『ライブ러리』⇒『マーケティング』からご確認ください。
- ② プレートは市販商品の正常な使用方法に限りです。
- ③ 出場する選手が本大会の予選種目から決勝種目まで使用できるスノーボードは計2台までとします。
- ④ 選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいはルーズフィットなものとし、レーシングスーツ（ワンピースやツーピース）は認めません。
- ⑤ コマーシャルマーキングについては、本連盟指定の様式にて申請し承認されたもののみ着用できます。

《ヘルメット等の着用に関して》

- ① 競技中は頭部を防護する為、すべての競技において必ずヘルメットを着用すること。

《ビブの着用に関して》

- ① インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用すること。

《スタートの要領に関して》

- ① 選手は各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答すること。
- ② 選手は前者のスタート後、ただちにスタート位置につき準備を整えること。
- ③ 選手はスタート審判の合図によりスタートします。ただちにスタートしない場合は当該種目を棄権したものとみなします。

《フィニッシュの要領に関して》

- ① フィニッシュライン通過後にスピードコントロールし、安全に停止できる状態をもって演技終了とします。
なお、フィニッシュラインはコートの下部の左右にある目印を結ぶラインとします。

《コートインスペクションに関して》

- ① コートインスペクションに関する規程は、TCMで詳細をお伝えします。

《抗議に関して》

- ① TCMにて詳細をお伝えします。

《その他》

- ① その他必要がある事項は別途定め、TCMで提案、承認を受けることとします。

《コマーシャルマーキング (CM) 申請》

- ① ヘルメットには、ワッペン又はシールを2社（2種類）/3枚まで付けることができます。その合計面積は100㎤以内とし、1枚の最大面積は50㎤以内とします。25㎤以下のデザインを利用すれば最大3ヵ所に取り付け可能です。（縦横のバランスは問いません）
掲示する場所（正面、側面、背面）の指定はありません。ただし、ヘルメットメーカーのロゴが隠れてはなりません。
2種類のデザインは、2枚とも同じ企業（デザイン）のマークでも可能、2枚が異なった企業（デザイン）のマークでも良いです。
また、同じ企業（デザイン）でサイズ違いのマークも可能です。
- ② ウェアの腕にサイズ50㎤以内（縦横のバランスは問いません）のマーキングスペースを合計2ヵ所までつけることができます。1ヵ所のみ付ける、もしくは無しでも可能です。マーキングスペースは2ヵ所を左右の袖に分け付けることもでき、2ヵ所ともどちらか片側の袖に付けることもできます。1ヵ所のみ付ける場合は左右どちらの袖に付けるかの指定はありません。マーキングスペースには、同じ企業（デザイン）のマークでも良いですし、2枚が異なった企業（デザイン）のマークでも良いです。また1枚のワッペンに複数のスポンサー名を表示することも可能です。ただし、ウェアメーカーのロゴが隠れてはなりません。また、ビブ着用時に隠れて見えなくなるものに関しては申請する必要はありません。
- ③ たばこ、ドラッグ（大麻等の違法薬物）、ギャンブル又はアルコール等や主催者が不当と判断するものについては認められません。
- ④ コマーシャルマーキングの違反については、未申請のワッペン、シール取り付けを発見した場合、速やかにTDまたは競技委員長へ報告。競技委員長が警告し、直ちに修正出来ない場合、組織委員会に報告の上で失格といたします。コマーシャルマーキング対象用品は次のものとします。
・ヘルメット ・ウェア
- ⑤ 各県連、スキークラブ等のワッペン、ステッカーもコマーシャルマーキングの対象となりますので申請してください。

《マテリアルチェックに関して》

- ① 加盟団体の代表者（監督又はコーチ）が参加選手のマテリアルを確認し、Googleフォームにてマテリアルの申請を行う。選手受付時に申請数分のボード用、ブーツ用のタイラップまたはシールを受領。各選手に配布後、指定位置への取り付け確認を行う。
また、大会期間中にボード用、ブーツ用タイラップを紛失した場合、速やかにTD、競技委員長、副競技委員長、統括審判長より再度受領し、選手に配布後、取り付け確認を行う。
※タイラップ取り付け位置
・ボード用 前足（進行方向）のビンディング外側
・ブーツ用 前足（進行方向）の外側
- ② マテリアルの違反については未申請の用品・用具使用を発見した場合、速やかにTDまたは競技委員長へ報告。競技委員長が警告し、直ちに修正出来ない場合、組織委員会に報告の上で失格といたします。※マテリアルチェック対象用品は以下のものとします。
・スノーボード（板） 台数上限2台 ・ブーツ

《演技の中断等に関して》

- ① 演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートする。中断が長引く場合は審判長の指示に従う。
- ② 選手は、係員の補助を受けることができる。
- ③ やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

《斜面の設定に関して》

- ① 競技斜面はその条件を満たせる設定を行う。
- ② 種目の規制要領は、別途提示する。

《審判員・審判方法などに関して》

- ① 競技種目の採点は公開表示による1ジャッジ20点満点の5審判5採用=100点満点で評価を実施

《大会中の日程変更に関して》

- ① 会期中天候やその他の状況によって実施方法、コート変更する場合がある。その場合は競技委員会で決定する

《広報・提示などに関して》

- ① 大会の成績及び変更内容は、公式掲示板に提示する。（SNS等活用）

《順位の設定》

- ① 予選4種目の合計点で決定する。（予選は最低1種目で競技成立とする）※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
 - ・フリーライディングの得点上位者とする
 - ・上記フリーライディングで決定しない時はミドルターンの得点上位者とする。
 - ・上記ミドルターンで決定しない時はリズムチェンジの得点上位者とする。
 - ・上記で決定しない場合は同順位とする。
- ② 決勝2種目（予選4種目を合算）合計得点で決定する。（決勝は最低1種目で競技成立とする）※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
 - ・決勝種目合計点の上位者とする。
 - ・上記で決定しない時は決勝種目ショートリズム・フリーの得点上位者とする。
 - ・上記2つで決定しない場合は同順位とする。

《表彰》

- ① フリースタイル部門：男子10位、女子8位
- ② アルペンスタイル部門：男子6位、女子3位

《コース整備に関して》

- ① 40人(基準)毎にコース整備を実施する。